

サマー・ストック (1950)

SUMMER STOCK

メディア 映画

ジャンル ミュージカル

製作国 アメリカ

時間 110分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

この映画のあと、ジュディは神経衰弱が再発して、いよいよMGMをクビになったという。悔し涙が思わずこぼれてしまうほど、後半の劇中劇で唄う“Get Happy”は素晴らしい。黒のソフトにタキシード、網タイツにハイヒールという超セクシーな姿は、その後の彼女のショウでの定番スタイルとなった。実はコレ、既に「イースター・パレード」で試みたスタイルだったことが、「ザッツ・エンタテイメントPART3」で分かるのだが、その“Mr. Monotony”のシーンはカットされた。それで、振付師だった監督のウォルターズが、本作で見事に再現したという次第。ジュディ演ずるは、自分は両親の農場を継ぎ、妹は都会の劇団で好きにさせている健気な姉、という役どころ。彼女のもとに妹が、一座を連れて“夏巡業”に押し掛けてくるからたまらない。彼女は座員たちに農作業の手伝いを約束させ、納屋を劇場に変えることを認める。G・ケリーの演出家との恋もしっとりみせ、で、“Get Happy”なり。

【クレジット】

監督	チャールズ・ウォルターズ	Charles Walters
製作	ジョー・パスターナク	Joe Pasternak
脚本	ジョージ・ウェルズ	George Wells
	サイ・ゴンバーグ	Sy Gomberg
音楽	ハリー・ウォーレン	Harry Warren
出演	ジュディ・ガーランド	Judy Garland
	ジーン・ケリー	Gene Kelly
	エディ・ブラッケン	Eddie Bracken
	グロリア・デ・ヘイヴン	Gloria De Haven
	マージョリー・メイン	Marjorie Main
	フィル・シルヴァース	Phil Silvers